

しんあい

発行日：平成30年5月26日

- 特別養護老人ホーム裕生園
- 養護老人ホーム長寿園
- きんかん 小規模多機能ホーム
- グループホーム たちはな
- ケアハウス シャトル
- みやづるデイサービスセンター
- みやづるサービス付き高齢者向け住宅

〒880-2221
宮崎県宮崎市高岡町内山 2407-3
TEL.0985-82-0196(代)
メールアドレス
sin-ai-kai@sin-ai-kai.jp

発行：社会福祉法人 信愛会 ホームページ <http://www.sin-ai-kai.jp>

第
30号

裕生園創立40周年記念号



平成30年5月12日(土)、辰元グループ敷地内のナナホールで行われた恒例の大運動会。特別養護老人ホーム裕生園、ケアハウスシャトル、グループホームたちばなのご利用者のご家族、有料老人ホーム宮崎しんあいのご利用者、さんさんクラブ飯田長寿会の皆さん、高岡地区の民生委員の皆さん、信愛会評議員の皆さん、そして職員。総勢約280名が気持ちの良い汗を流しました。

裕生園創立40周年記念



社会福祉法人信愛会
理事長
辰元 信

昭和38年に老人福祉法が制定されましたが、まだまだ老人医療という言葉自体が一般的ではなかった。そんな昭和52年に裕生園は開設いたしました。その後も昭和57年老人保健制度、平成12年介護保険制度、平成20年後期高齢者医療制度等々、様々な福祉や医療の制度改革もありました。

現在の高岡町では高齢化率が宮崎市内の中でも高く30%を超えています。そんな中、私たちが40年という介護の歴史と、色々なタイプの高齢者施設を合わせ持つことにより高齢者の生活のレベルや認知症、病気に合わせた対応を行ってきたと考えるています。もちろんこれらのことは、私たち医療者だけで出来ることではなく、入所者のご家族や地域の方々のご理解や協力なしにはできません。災害時の対応も必要となってきます。

40年前と比べると高齢者医療も様変わりしてきました。昭和52年男性の平均寿命は72・69歳、女性が77・95歳でした。2017年でみると男性80・75歳、女性86・99歳となっています。人工呼吸器やAED(電気的除細動器)、経管栄養(胃腸等の医療処置も多く行われています。また認知症や食物誤嚥、転倒、骨折の問題なども多く報道されています。

そんななか近年は自宅で最期をむかえるお年寄りは減っており、昭和51年では約9割が在宅死ともいわれていたのですが、裕生園が出来たころから逆転しはじめ2005年には病院死は82・4%と高い割合となっています。2016年病院死は75・8%と減っていますが、それは施設での看取りが9・2%を増えているのでやはり自宅死は13%と二割程度です。

これまで老年医療に携わってきて感じる点があります。現在は一般の家族にとって死が日常の生活から縁遠いものとなっていると感じます。施設に預けたらそれですべてをおまかせしますではなく、かわりを持ってほしい、徐々に衰えてしまふそして頑張っている高齢者の姿を見てほしい、施設側とも協力や意見をしていたき、骨折、誤嚥などのリスクも理解してほしい、そしてきたるべき最期の時間を悔いなく静かに迎えるための「心づもり」が一番必要だと思います。

40年前裕生園の周辺は、みかんの木でいっぱいでした。今もその風景はあまり変わらないように思います。高岡のサブテーマが「人がいきいき、まちがいきいき、元氣とやさしさをなくくむヒタミ地域」です。そんな環境づくりを私たちもこれからも目指していきたいと思えます。

どうします、終の棲家



社会福祉法人信愛会
副理事長
辰元 圭子

社会福祉法人信愛会特別養護老人ホーム裕生園は設立後四十一年目になり、思い起こせば当時、東諸岡がしろ三町の中心に特養裕生園を開設し、県内十五番目の施設でした。年々急速に高齢社会になり、特養一〇六ヶ所、老健四十五ヶ所、有料老人ホーム四百四十一ヶ所、グループホーム、小規模多機能型事業所と在宅系の通所施設等、施設の種類の多様化しています。年々国の財政もきびしくなり、医療保険も介護保険の施設も、施設運営から、法人経営に転換する事になります。

終末をどこで迎えるか？と考える時に、国は「在宅で」とかじ取りをしています。現実問題として家族の協力を得られる人は十分在宅での看取りができますが、独居老人等、家族との関わり不足している人は地域との関わりを持つ事が大切です。

施設入所や通所施設の利用等、利用する理由は人によって様々ですが、他者との関わりを持つ事は、時には煩わしい事もあるかもしれませんが、それでも人生の最後を自分らしく生きるために必要な事です。それはおしゃべりをする事で、人の集まる所には人と人をつなぐ効果があります。

施設での看取りをする時に、家族の協力と二十四時間の見守りは多数の人の手が必要です。現在、介護職員の労働力不足で、いよいよ外国人労働者に頼らざるを得ない時代になりました。今後は質の良い職員の育成と同時に、外国人労働者の介護実習をしつかりやって行かなければ、と思います。

裕生園創立四十周年を迎えて



特別養護老人ホーム裕生園
施設長
中岩 哲也

昭和五十二年四月、裕生園はこの高岡町飯田地区において産声をあげました。開設当初は定員五〇名でスタートし、ケアハウスシャトル開設時の増設業を経て、現在は入所七十四名、短期入所六名の合計八十名定員となっています。

この飯田地区を本拠地とする辰元グループの中で、辰元病院の前身である高岡クリニックが造られたのが昭和五十三年十月とあります。それより前に特別養護老人ホームである裕生園が飯田地区に生まれ育てられ、受け入れられ、辰元グループ全体が大きくなってきました。運動会、夏祭り、敬老会、誕生会の弁当配食サービスなどの行事を通じて、地域住民の方と交流を続け、地域との繋がりを深めることが出来たのだと思います。

さて、平成五年に外国人技能実習制度が創設され、林業、水産業、製造業など様々な分野で、二十九万人もの外国人実習生が就労しています。昨年十一月から介護分野においても、実習生の受入が可能となりました。実習生とはいえ講習受講後は、雇用契約を結び、介護職員として最長五年間、介護技術の習得のために働いてもらうことになりました。裕生園でも早ければ来年一月頃にインドネシアから三名の実習生を受け入れる予定です。介護技術だけでなく、四十一年の歴史の重みと地域に根ざした施設サービスの有効性を学び、母国でぜひ役立ててもらいたいと思っています。

四十年前には考えられなかった外国人労働者や技能実習生を受け入れざるを得ない時代の流れを感じつつ、裕生園の四十年という積み重ねられた歴史も大切にしながら、今後もご家族、ご利用者に喜んでいただけるサービスを提供していきたいと思っています。

社会福祉法人の評議員について



社会福祉法人信愛会
評議員
下郡 憲慶

少子高齢化社会を迎え、地域福祉のニーズは益々多様化・複雑化しています。社会福祉法人は、社会福祉の発展・充実に使命とし、地域住民が日々の生活のなかで必要とするさまざまな福祉サービスを提供し、支援する福祉サービスの中核的な担い手として、これまでに地域社会に貢献していくことが期待されています。また、公益性・非営利性を持った組織として、運営の透明性を確保することや組織経営のガバナンスを強化していくことが求められています。こうした中、社会福祉法人制度改革が行われ平成29年1日より、すべての社会福祉法人は評議員会を設置する事が義務付けられました。

社会福祉法人は、公益を目的とした公共性の高い民間の非営利法人で、サービス提供の結果生じた利益は、地域のニーズに合わせた福祉サービスの充実や拡大にのみ使われます。

その設立にあたっては、土地や財産など安定した経営基盤の保持が原則で、事業の開始廃止には行政の認可が必要です。また、法人の適正運営のため行政が関与する仕組みが設けられています。

そこで、評議員会には法人が適切に運営されるようチェックの機能や地域の福祉ニーズやサービスを利用する当事者の声を法人の運営に反映させることが求められています。

今、行政においては、医療・介護そして福祉の連携を図る地域包括ケアシステムの構築が進められています。また、社会福祉法人においては、今後予想される利用者負担増・報酬の削減等社会保障政策の変化、人口減少による利用者ニーズの減少、また、人材不足による経営資源の不足による経営上のリスク解消と、諸問題に取り組んでいかなければなりません。

この状況の中、社会福祉法人「信愛会」の評議員に選任されましたが、社会福祉法人の目的、評議員の役割を十分理解し、法人が地域でのニーズに応え、地域に根ざした運営を一層進めていくためにお役に立てればと考えています。

感謝



裕生園家族会
会長
染矢 耕一

早いもので裕生園年長組の十四年目になりました。母が認知症になりまして、突然家からいなくなつて、記憶が薄れて帰れなくて泣いてないだろうかと思つていて、バトカーで帰宅したり、警察署から呼び出されて泣いていました。家族会議を開いて、裕生園にお願いする事になりました。私達は通常生活に戻りました。介護していた父もいつか生まれ、二十四時間優しく接してくれるスタッフさんのお陰だと思つています。

そういう皆さん、この度は四十周年おめでとうございます。皆さん全員で優しく丁寧に対応して頂き、一日二日の努力の結果だと思います。他県では施設でのトラブルをニュースで耳にする事が多くなりました。裕生園では考えられない事件です。高齢化と少子化が進み、安心して老後を迎えることが困難な近日ですが、裕生園はトラブルもなく、若いスタッフも多く安心して頂いています。四十周年を先輩から譲り受けたので、次世代の方へ譲り渡して裕生園を盛り上げて頂きたいです。次は五十年、百年へ記録更新を目指して精進してまいります。

これからもよろしくお願ひします



裕生園家族会
副会長
日高 康一

裕生園の創立四十周年おめでとうございます。妻が裕生園にお世話になりました。三年ほどになりました。要介護度で寝たきりの生活ではありますが、大好きな演歌を聞きながら穏やかに過ごしております。また、様々なイベントにも参加させていただき励みにもなっていることと思います。職員の皆様には目頃から大変優しく接していただき本当に有難く感謝の気持ちでいっぱいです。私達家族も、できるだけ面会に行き、コミュニケーションをとっていきなさいと思っております。今後何かとお世話になりますが、どうぞよろしくお願ひ致します。最後になりますが、裕生園の益々の発展をお祈り申し上げます。

裕生園40年の歩み①

1977
(昭和52年)
—
2007
(平成19年)

※昭和62年4月18日の裕生園開園から30周年までの期間の詳細については『裕生園創立30周年記念誌』をご覧ください。信愛会のホームページをご覧ください。

裕生園創立当時 (昭和52年頃)



辰元圭子副園長。オープン2年目から園長



宮崎日日新聞 昭和52年4月17日の記事(開園前日)



昭和54年正月、遊歩道にて

創立20周年当時 (平成9年頃)



創立20周年記念式典 (平成10年)



ケアハウスシャトル新館完成。定員50名に増床 (平成12年)



辰元圭子園長が藍綬褒章を受章。お祝いの席で (平成12年)

創立10周年当時 (昭和62年頃)



創立10周年記念式典(昭和62年)



松形知事2度目の来園 (昭和62年)



綾町自然休養村公園への遠足。中央は当時の郷田総町長 (昭和62年)

創立30周年当時 (平成19年頃)



天皇陛下からの御下賜金伝達式。宮崎県福祉保健部長から辰元忠理事長へ。裕生園にて(平成18年)



創立30周年記念式典。ナナホールにて (平成19年)



創立30周年記念誌を発行 (平成19年)

裕生園40年の歩み②

2007
(平成19年)
—
2010
(平成22年)



きんかん小規模多機能ホームが宮崎市浮田にオープン (平成21年3月)



平成19年11月16日、就任1年目の東国原宮崎県知事が辰元グループの視察のため来訪。109歳の植村コトさん(右)、100歳の鈴木サエさんと並んで(裕生園ホールにて)



平成21年6月26日、社会福祉法人信愛会の初代理事長で辰元グループの総帥だった辰元忠が永眠。享年74歳。同月28日、小雨の中、宮崎市高岡町の葬祭場で告別式が営まれた。



故辰元忠前理事長を偲ぶ追悼誌『泣くよかひつとべ』が発行される。家族、親類、知人、職員、OB等、60名を超える寄稿者による追悼誌 (平成22年6月発行)



辰元信(まこと)新理事長が就任。平成21年7月9日の理事会で承認され、あいさつする新理事長 (裕生園会議室にて)

平成22年(2010年) 平成21年(2009年) 平成20年(2008年) 平成19年(2007年)

福祉界の動き

信愛会の動き

- 6月 裕生園創立三十周年記念式典開催
- 11月 東国原宮崎県知事来園
- 4月 養護老人ホーム長寿園が宮崎市から信愛会へ譲渡される
- 11月 ちはなサイバーサービスセンター開設
- 3月 きんかん小規模多機能ホーム開設
- 6月 初代理事長辰元忠死去
- 7月 新理事長辰元信就任

後期高齢者医療制度スタート

- 11月 日本年金機構発足
- 1月 ケアハウスシャトルの27床を特定施設化

社会の動き

- 百歳以上3万人を超える
- 郵政民営化

- 北京オリンピックリーマンシヨック
- ノーベル物理学賞受賞 (南部氏・益川氏・小林氏)
- ノーベル化学賞受賞 (下村氏)

- オバマ氏第四十四代アメリカ大統領就任
- 裁判員制度スタート

- 衆議院選挙で民主党勝利 政権交代へ

- バンクーバーオリンピック
- 宮崎県で口蹄疫問題発生
- ノーベル化学賞受賞 (根岸氏・鈴木氏)

裕生園40年の歩み③

2011
(平成23年)
—
2017
(平成29年)



平成23年1月、宮崎県と鹿児島県の県境にある新燃岳が52年振りに噴火。宮崎市高岡町にも火山灰が降り積もった。写真は公用車に積もった火山灰。また、直後の3月には未曾有の東日本大震災が発生。裕生園からも介護職員を福島県の特養に応援のため派遣



平成25年4月18日、長寿園で行われた落成祝賀会。この日は奇しくも、裕生園の創立36周年に当たっていた



平成25年3月、宮崎市浮田地区への移転改築工事が竣工した養護老人ホーム長寿園。手前の池は西田池



平成26年4月、社会福祉法人信愛会は宮崎市から高岡デイサービスセンターの指定管理を受託。長年にわたって高岡地区の在宅福祉の中心的役割を担って来たデイサービスセンター(平成29年3月末指定管理満了)



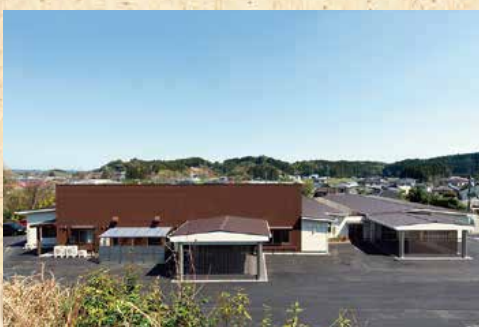
同じく、平成26年4月、宮崎市から指定管理を受託した高岡老人福祉館「百寿荘」。無料の入浴サービスを提供する施設で、昭和49年4月開設(平成30年3月末指定管理満了)



宮崎市からの指定管理を受託した高岡老人福祉館「百寿荘」で行われた地元の老人クラブと百寿荘利用者との合同敬老会。百寿荘では合同敬老会や合同桜祭りを通して、地域住民との交流に努めた。(平成26年9月)



平成28年11月1日、「みやづるデイサービスセンター」がオープン。平成28年度末での「高岡デイサービスセンター」の廃止が宮崎市により決定しており、それを受け継ぐ形で信愛会がみやづるデイサービスセンターを開設。



平成28年4月、宮崎市高岡町宮水流地区に完成した「みやづるサービス付き高齢者向け住宅」(左棟)と「みやづるデイサービスセンター」(右棟)。この土地にはもともと養護老人ホーム長寿園が、浮田地区に移転するまで、建っていた



平成29年12月、信愛会は高岡町中心部に辰元グループが所有するビルの一画に、認知症の方とご家族が気軽に立ち寄れるカフェを目指して「オレンジカフェたかおか」を開設。現在、毎週1回オープンしている。

福祉界の動き 信愛会の動き

社会の動き

サービス付き高齢者向け住宅の創設
4月
信愛会副理事長辰元圭子
裕生園施設長川越淳
障害者虐待防止法成立

障害者総合基本法成立
(障害者自立支援法からの改正)

介護職員初任者研修制度発足
4月
養護老人ホーム長寿園が
宮崎市浮田に移転改築
障害者差別解消法
生活困窮者自立支援法成立

4月
宮崎市から高岡デイサービスセンターと高岡老人福祉館百寿荘の指定管理を受託

介護予防サービスの日常生活支援総合事業へ移行開始
介護保険制度改正により
特養入居条件が介護度3以上となる
4月
裕生園施設長中岩哲也

11月
みやづるデイサービスセンター開設
4月
みやづるサービス付き高齢者向け住宅開設

社会福祉法改正
・議決機関としての評議員会の必置
・事業運営の透明化
・社会福祉充実残額の明確化
・地域における公益的な取組の責務の明文化
4月
裕生園創立四十周年
技能実習制度に
介護職も追加
12月
オレンジカフェ
たかおか開設

新燃岳爆発的噴火
東日本大震災
サッカー女子なでしこジャパン
ワールドカップ優勝

北朝鮮金正日総書記死去
金正恩体制へ

ロンドンオリンピック

ノーベル医学・生理学賞受賞
(山中氏)
中国習近平体制発足

衆議院選挙で民主党政大敗
自民党第2次安倍内閣へ

特定秘密保護法成立

ソチオリンピック
消費税が5%から8%へ
御嶽山噴火
ノーベル物理学賞受賞
(赤崎氏・天野氏・中村氏)

マイナンバー制度制定

ノーベル医学・生理学賞受賞
(天村氏)
ノーベル物理学賞受賞
(梶田氏)

熊本地震
選挙権が18歳以上に
リオデジャネイロ
オリンピック

トランプ氏アメリカ
大統領に就任

将棋の藤井聡太四段が
二十九連勝の新記録
男子陸上百米メートル
桐生祥秀が日本初9秒98
ノーベル文学賞
(カスオ・イシグロ氏)

裕生園の今

2017年(平成29年)

1月 お正月



2018年のスタートです。裕生園玄関前にも立派な門松を飾りました。今年も皆様にとって良い一年となりますように！

2月 節分



今日は節分です。みなさん、豆を持っていざ鬼退治



悪い子はおらんかねえ～
鬼は外！福は内！

3月 外気浴



今日は天気もいいので、みんなで遊歩道で外気浴です。



ハイ・チーズ！桜が満開でとても綺麗に咲いています。

10月 生花活動



立派な生花が出来ました。ピース！



皆で楽しく生花をしました。

11月 高岡小学校慰問



高岡小学校6年生が慰問に来てくれました。



生徒さんと一緒に折り紙をしました。

12月 クリスマス会



オカリナフレンスのみなさん今年も大いに盛り上げてくださいました。



メリークリスマス!!
サンタさんからクリスマスプレゼント

7月 七夕慰問



園児から今年も笹の葉(短冊)を頂きました。ありがとうございます。



かわいい園児たちによる発表会歌あり踊りあり楽しい慰問となりました。

8月 辰元G 夏祭り



今年も多くの方が来てくれました。盛大に盛り上がりました。ありがとうございました。



桜エイサー太鼓のみなさん日南から来てくれました。すばらしいエイサー披露最高でした。

9月 敬老会



辰元信理事長のご挨拶



ご家族揃っての記念撮影！ハイ！チーズ

福永クニさん100歳長寿おめでとうございます。

4月 お花見



桜を觀賞しながらのお食事会
やっぱり、外で食べる食事は美味しいです。



残念ながら桜もまだ3分咲き
ちょっと早いお花見会となりました。

5月 運動会

パン食い競争
誰が一番早くパンを摂れるかなあ？
がんばれ～！

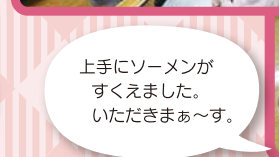


玉入れ競争
フレイフレイ赤団！
フレイフレイ白団！

6月 そめん流し



みんなで仲良く
ラーメン流しをしました。
早く流れて来ないかなあ～。



上手にラーメンがすくえました。
いただきますあ～す。

ケアハウスシャトル

近くの天ヶ城公園に桜見物に来ました

お花見



宮崎市内の市民の森公園にて。菖蒲の花が満開です

クラブ活動、レクリエーション



平成29年8月、最後の短歌会。このあと新たに俳句の会が始まりました



季節の行事



初夏の訪れを告げるお茶会



サンタクロースの登場



餅をついて新年を迎えます



保育園児達の元気一杯の太鼓の演奏

ケアハウスシャトルでは、年間を通していろいろな行事やレクリエーション、クラブ活動を行っています。ご利用者が自分の好みや希望に沿って自由に選択できるように、これからもメニューを充実させて参ります。



夏祭りでのフラダンスショー

外食



たまには外食も気分が変わっていいですね



今年の遠足では、地元の飯田地区の老人クラブの皆さんと一緒に宮崎市内の放送局と県立総合博物館を見学しました

地域交流遠足



ニュースフラッシュ

楠元ケアマネジャーが 全国社会福祉協議会会長表彰を受賞



辰元圭子副理事長から表彰状と記念品を伝達授与される楠元剛志氏



記念品の銀メダル

平成30年2月23日、裕生園の副理事長室において辰元副理事長から表彰状と記念品の銀メダルが伝達されました。本当におめでとうござい

ます。平成29年11月、たかおか居宅介護支援事業所の管理者の楠元剛志主任ケアマネジャーが全国社会福祉協議会会長表彰を受章しました。これは20年以上に渡って社会福祉に携わり、利用者の支援に精励し、また地域福祉の向上に大いに貢献したことが認められたことによるものです。

社会福祉法人制度 始まって以来の大きな改革

わが国固有の制度である社会福祉法人制度は昭和26年に創設されましたが、その時以来の初めてと言える大きな改革が平成29年4月に実施されました。内容としては、議決機関としての評議員会の必置、一定規模以上の法人への会計監査人の導入、財務諸表・現況報告書の開示、役員報酬基準の公表、社会福祉充実残額がある法人に対する社会福祉充実計画の策定の義務付け、地域における公益的な取組の責務化、などです。信愛会も社会の公器である社会福祉法人にふさわしい、ガバナンスの強化、透明性の確保、公益的取組の推進、に真剣に取り組んで参ります。

介護分野にも 外国人技能実習制度が導入

平成29年11月、従来からある外国人技能実習制度に介護職が追加されました。農業や製造業では以前からこの制度が稼動してきましたが、対人サービスでありコミュニケーション能力が必要とされる介護の分野は導入が見送られていました。このたび、日本語検定4級以上という条件をクリアした実習生が、現地の送り出し機関と日本の監理組合とのパイプを通して個々の施設・事業所に配属されることが可能となりました。今後、多くの外国人が日本の介護分野に入ってくる事が予想されます。信愛会、また辰元グループとしても、外国人技能実習受け入れの態勢作りを開始する予定です。

養護老人ホーム 長寿園



園外食



餅つき大会



園芸クラブ

長寿園 明るく楽しい施設生活



生花クラブ



桜見学



まほうっくり保育園の
園児達との交流会

長寿園には、様々な理由で人所されている方がいます。その一人ひとりと向き合って、少しでも施設での生活が快適で過ごしやすいものになる様に日々各部署で協力しながら、様々な面での支援を行っています。今回の受賞を励みに、長寿園がより良い施設になれる様に努力していきたいと思っております。

（受賞者から一言）
「長寿園の皆で、夢や人生を語り合いながら、楽しんで頑張っています。」



平成三十年二月二日に開催された宮崎県老人福祉サービス研究会において、会員として十年以上の永年勤続者に対して、表彰が行われました。今回は、長寿園副主任支援員の山之内なつ江さん（写真）が表彰されました。

「県老サ協より 永年勤続表彰受賞」



きんかん小規模多機能ホーム

きんかん畑



きんかん畑3年目
利用者の皆さんと一緒に耕すところから収穫して、一緒に食べて、四季を感じています。



運動会

初の運動会開催
全利用者参加してもらって運動会を行いました。



地域交流

地域の方と一緒に体操したり、公民館をお借りしたり、来てもらったりして、地域交流を図っています。



外出



手作り



季節になると梅をつけたり、ラッキョウをつけたりして、日ごろのお茶のお供を手作りしています。

今年もいろいろなところに行きました。都農町の梨狩り、国富町の柿狩りなど利用者の皆さんが喜んでいただけたところに行けました。

みやづる

「開設3年目に向けて」
 みやづるサービス付き高齢者向け住宅及びみやづるデイサービスセンターも開設して、三年目を迎えることができました。みやづるサ高住は、とても人気があり空き状況の問い合わせも多く、現在、入居者の居室は、埋まっている状況にあります。また、みやづるデイサービスセンターにおいても、高岡デイサービスセンターの廃止にともない、滞りなくみやづるデイサービスセンターに移行して順調に運営しております。

今年、四月以降の介護報酬改定があるため、通所介護事業所の運営はますます厳しい環境にあります。

今後、みやづる地区で事業を継続して運営することができるよう、今まで以上に提供するサービスを充実させて、この地域に愛され、そして入居者や利用者、地域住民の皆様にも信頼してもらえる高齢者施設を目指して職員一同頑張っていく所存です。

サービス付き高齢者向け住宅

家庭的な環境と地域住民との交流のもとで、それまでの暮らしを尊重し、個々にあったサービス提供が出来る住宅を目指します。



クリスマス会



夏祭り



地区の祭り



デイサービスセンター

「いつも楽しく、笑顔、笑いの絶えないデイサービス」をモットーに、日々、利用者の皆様と元気に活動しています。

こい釣り大会



夏祭り



運動会



季節の行事



去川・大イチョウ



平和台公園

毎月行事

ドライブ・食事会・お誕生会
 お買い物・慰問(舞踊・民謡)



敬老会



クリスマス会



グループホーム たちばな

外出



家族との流しそうめん

グループホームたちばなは、認知症のあるご利用者対象のホームですが、まるで家庭のような雰囲気の中で職員とご利用者が一緒に日々楽しく日常生活を送っています。「ここに来て良かった。ここが私の居場所です」と、ご利用者に心から思ってもらえるホーム作りをモットーに、四季折々の行事や買物、外食、ドライブ、食事作り、園芸等を職員と一緒に楽しんでいただいております。

花火大会



楽しく調理



Merry Christmas

Merry Christmas

しんあい歌壇

毎月一回、ケアハウスシャトルで行われている短歌会で発表された短歌の中から、いくつかを紹介いたします。作者は、シャトル、裕生園及び宮崎しんあいの入居者の方々です。
(氏名五十音順)



堂々とくじらが泳ぐをながめたり

子供の成長願いをこめて

中菌 モリ

天ヶ城上りて眺む高岡町

生涯暮すと決めたる町よ

中菌 モリ

知りあいに何才ですか聞かれたら

モウといわずにマダと前向き

中菌 モリ

どてに咲く野菊の花はいぢらしく

私の心をおだやかにする

二宮 裕子

卒業式「ほたるの光」ロずさみ

我が青春を思い出すなり

二宮 裕子

プロ野球広島優勝おめでとう

来年こそは巨人が優勝

二宮 裕子

「つかれたらもうきていいよ」亡き父が

云っている様な白い雲ゆく

花田 暢子

ひとつつつ物忘れゆく老いの身に

又新しき語の出で来る

花田 暢子

TVにて巨人阪神観て居れば

隣に亡夫の居る氣配する

花田 暢子

ねんねこでおぶった孫も十七才

誕生日に胡蝶蘭届く

松浦 エイ

九十の坂しみじみと立ち止まる

辞書を片手に指折る短歌

松浦 エイ

梅雨入りし耕運機の音こちよく

青田のさざ波農夫ほほえむ

松浦 エイ

水色のハンカチ振りて別れし友

涙の笑顔今も忘れず

松本 マサ

青き空黄泉の国まで続くのか

入道雲にそうと聞くなり

松本 マサ

夏めくに遅い梅雨入り紫陽花は

そら色深く雨を待ちおり

森田 琢恵

君と会い欄干にもたれ黄のリンゴ

分けて食べた日遠くなりたり

森田 琢恵

一日の畑仕事終え夕餉どき

陽はまだ高い今日は夏至なり

森田 琢恵

お生花は心なぐさめ夢ひらく

生けたる人の心まで見ゆ

矢野 いさ子

書きぞめや動かぬ指をふりしぼり

元旦とのみ書くくやしきよ

矢野 いさ子

日当たりを選び植えたる柚子の木は

夫の思いよ近所に配る

矢野 いさ子

『ひこばえ』第一四一号〜第一五一号のなかから
「しんあい」編集部が選びました。

花田暢子氏の「ひとつつつ物忘れゆく老いの身に」の歌が平成二十九年年度心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会の佳作に入賞しました。おめでとうございます。御本人にこの歌の意味を尋ねたところ、次第に物を忘れがちになるこの頃なのに、世の中は又横文字や省略語、ネット関係の言葉など、日々新しい言葉が出て来ることを慨嘆した歌だということでした。

編集後記

裕生園が創立40周年を迎えました。創立30周年の際に記念誌を作ったのですが、それ以降の10年を振り返る良い機会となりました。この10年間の変化はとて大きなものがありました。利用者へのサービスが個別的にきめ細かくなって来たと同時に、福祉が、施すものから、対価的のものに質的に変化して来ましたが、今後ますます少子高齢化が進み、人材不足、地域間格差の増大等、難題が切迫して来ていると、自治体の精神で困難に向かつて行く時代が来ているように思えます。10年後、裕生園創立50周年を迎える時、社会が福祉が、どうなっているのか、なかなか予測が難しい現代です。

『しんあい』のバックナンバーは信愛会のホームページで見ることができます。 <http://www.sin-ai-kai.jp>